

「海の不思議を知ろう」

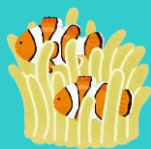
「サンゴの育む海の世界」

茶花小学校 5 年生

講師：

NPO 法人海の再生ネットワークよろん

池田 香菜さん



令和 2 年度与論町海洋教育

06 号

昨年度から与論町教育委員会では日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所からの支援を受け海洋教育パイオニアスクールを導入しました。町内の小・中・高等学校が連携して行う「地域連携型」というスタイルで海を通じた学びの活動を行っています。与論町教育委員会を含め全国 10 の地域が「地域連携型」で海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加しています。

10月28日に茶花小学校5年生の授業を見学させていただきました。講師は「NPO 法人海の再生ネットワークよろん・池田香菜さん」、授業テーマは「海の不思議を知ろう」、「サンゴが育む海の世界」です。

授業の冒頭では池田香菜さんの「海ってどんなところだろう?」という問いに対し、



「生き物の憩いの場、生き物の宝庫、船・飛行機が沈没した場所、深いところ」などそれぞれの考えが共有されていました。その後、「川の無い与論島での水の循環、海の深さ・色、波はどうやってできるのか」など、海の不思議についてクイズを交えながら学んでいました。

2つ目のテーマ「サンゴの育む海の世界」では、クイズを中心にサンゴについて学んでいました。「サンゴは植物か動物か、どうやって増えていくのか、動くのか、どんなところに住んでいるのか」など、普段目になっているサンゴですが、意外に知らないことも多かったようで楽しみながら、サンゴに関する知識を深めていました。



授業の終盤には、ゲーム「エサのエサは何?」を通し、海での食物連鎖そしてマイクロプラスチックが環境や私たち人間の健康に与える影響なども学んでいました。

これまでの経験、他の授業で学んだ知識を活かしながら、クイズやゲームを楽しみ海への学びを深めている姿がとても印象的な授業でした。

取材：

与論町海洋教育推進協議会事務局

取材日：2020.10.28